

平成31年度 当初予算要求の概要

局・区名

消防局

要求総額

4,856

百万円

(対前年度予算 + 44 %)

局区予算要求方針

- ・増加傾向にある救急需要に対し、救命の連鎖を確実なものとするため、予防救急の推進を図る。
- ・増加傾向にある救急需要や複雑多様化する災害現場等へ確実に対応するため、最新技術の導入を図り、情報伝達体制の高度化を図る。
- ・平常時の地域防災力の向上及び大規模災害に備えた防災拠点等の整備の推進を図る。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 予防救急の推進

要求額

◎ まちかど救急ステーション事業

1 百万円

取組内容

救命の大きな一因となる自動体外式除細動器（AED）の使用を促進するため、管内の自動体外式除細動器（AED）設置施設の登録・標示制度を設け、AEDの設置場所を市民に情報提供する。

2 情報伝達体制の高度化の推進

○ 消防行政統合システム整備事業

1,895 百万円

取組内容

消防車や救急車へ最適な出場指令等を行う消防行政統合システムについて、耐用年数を迎える現行システムの安定稼働を図りながら、機能強化に向け、新システムへの更新を図る。また、画像伝送システムの一部である衛星地球局の次世代化型への更新を行う。

3 大規模災害等に備えた防災拠点等の整備の推進

◎ 消防署所等施設整備事業

33 百万円

取組内容

建築後50年が経過し、老朽化が著しい堺消防署の移転、整備に向けて、用地確保及び基本・実施設計の策定に着手する。

○ （仮称）堺市総合防災センター整備事業

433 百万円

取組内容

本市における総合的な防災拠点となる（仮称）堺市総合防災センターの整備に向けて、敷地造成外工事を引き続き進めるとともに、建築工事に着手する。

行財政改革の項目

1 警防業務の充実強化

効果額

○ 災害時の出場隊編成の見直し

－ 百万円

取組内容

増加傾向にある高齢者の救助事案や風水害での複数発生事案等、多様化する市民の消防ニーズに応えるため、火災事案への出場車両の見直しを行い、限られた人員、車両、資器材の効率的な運用を図ることで、複数災害発生時等の対応を強化する。